令和６年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅中学校

４月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため，生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに，生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に，本校生徒の学力の傾向を分析し，学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語，数学)

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
調査問題では，上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

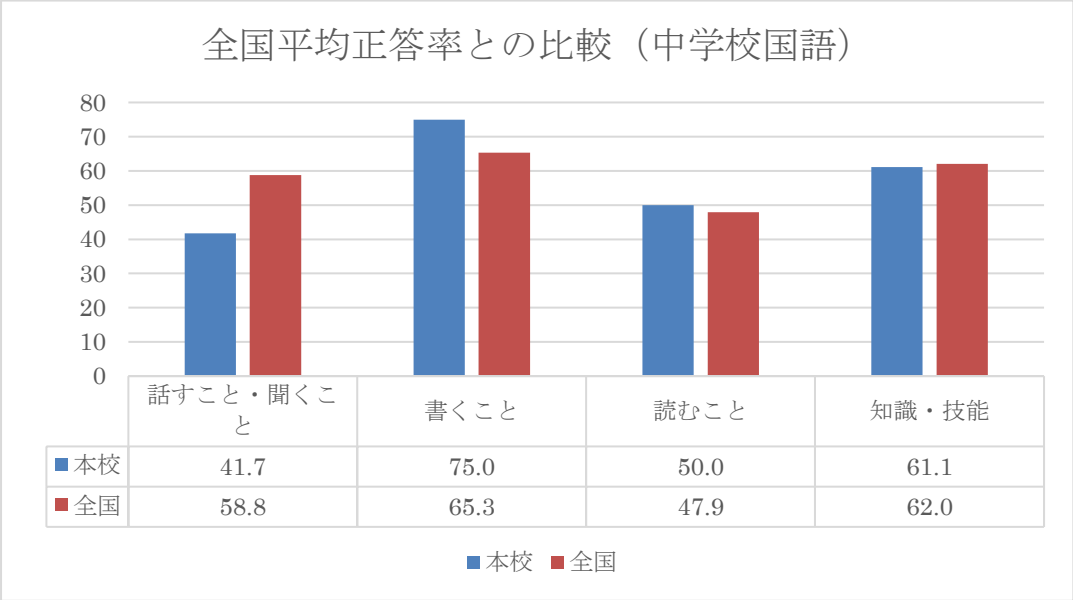
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査 (例)学習に対する興味・関心，授業内容の理解度，基本的生活習慣，家庭学習の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組，指導方法の工夫，学校運営に関する取組，家庭・地域との連携の状況　など

■調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学６年生・中学３年生と限られた学年が対象であり，教科は国語と算数・数学に限られています。さらに，出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって，この調査によって測定できるのは，「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上，ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語



	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能
本校	41.7	75.0	50.0	61.1
全国	58.8	65.3	47.9	62.0

(1)結 果

「書くこと」「読むこと」は，全国平均正答率を上回っています。また，無解答率をみると，ほぼすべての問題で全国平均よりも低くなっています。

(2)成果と課題

今回の調査で，「書くこと」が全国平均正答率を 9.7 ポイント上回りました。これは，単元の終末に「書くこと」を含む表現活動を意図的に仕組んだり，苦手意識を払拭するために手立てをとったりしたことの成果が表れていると考えられます。また，「読むこと」も全国正答率を 2.1 ポイント上回りました。

課題は，「話すこと・聞くこと」の中の「記述式」の問題の正答率を上げることです。誤答の中には，作文を書く条件を細部まで読み取れず，条件に合うように記述できていない傾向が見られました。作文を書く問題の条件に印をつけさせるなどの手立てをとり，習慣化させていくことが重要だと捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

○子どもが主体的に取り組むことができるように，単元の見通しがもてる振り返りシートを工夫し，単元のゴールが分かるようにします。

○漢字テスト，語彙テスト，文法等の小テスト等，自分の知識を確認できる機会を毎時間設定します。スキルタイムでも知識・技能に特化した課題に取り組ませ，定着を図ります。

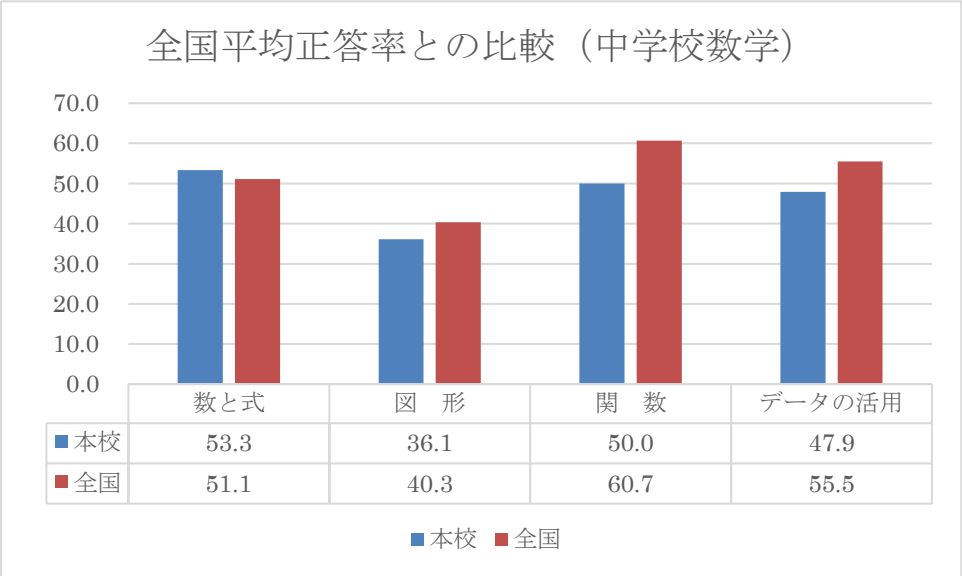
○目的や意図に応じて，自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。

【ご家庭では】

○様々なジャンルの文章に触れる機会をもってほしいと思います。文章の内容を追うだけでなく，筆者はこの文章を通して読者に何を伝えたいのか，分かりやすく伝えるためにどのような工夫をしているのかを考えながら読むことは，読解力と語彙力を磨くことにつながります。また，文章を読み，要点や意図を捉えることは，国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。

○ご家庭で会話の中で，時には子どもが日頃耳にしないような語彙をあえて大人が使うことが知的好奇心をくすぐります。その好奇心に応じることが豊かな語彙力の育成につながります。

2 数学



	数と式	図　形	関　数	データの活用
■本校	53.3	36.1	50.0	47.9
■全国	51.1	40.3	60.7	55.5

(1)結　果

「数と式」は全国平均正答率を上回りましたが，他の領域で全国平均正答率をやや下回っています。無解答率については，ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

(2)成果と課題

今回の調査では，「記述式」の問題の平均正答率が，全国平均正答率を上回りました。自分の考えを式や言葉を使って論理的に書く機会を増やすなどの授業改善の成果が表れていると考えられます。

課題は，「関数」の領域の，グラフの傾きや交点の意味に関する問題の正答率が全国平均を下回っていました。グラフを正しく読み取ることができていないということが考えられます。

今後，関数関係に着目し，特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察し，表現することができるようにし，実感を伴った理解ができるようにすることが重要であると捉えています。

(3)学力向上のための取り組み

【学校では】

○式から答えを出すだけではなく，式の意味を考えさせたり，教科書の例題を説明させたりしながら，自分の考えを表現する活動を充実させます。

○論述やレポートの作成，発表，グループでの話し合い等の多様な活動を取り入れることで，自分の考えを式や言葉で，論理的に書く機会を増やし，知識・技能の向上に努めます。

○ノートチェック，プリント，ワーク，家庭への課題など，日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ，補充指導に努めます。

【ご家庭では】

○お子さんのワークやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって，たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。

○数学が好きになるには，一人で解けたという喜びを実感する経験をさせることが有効です。そのためには，既習内容の確実な積み重ねが大事になります。授業後は必ず復習を行うよう指導しておりますので，ご家庭で問題を繰り返し解いたり，計算力をつけたり，日々の努力を継続させてください。

３ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結　果

※「当てはまる」「どちらかで言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した生徒の割合。

≪生活習慣・自己肯定感・規範意識について≫

調査項目	本校　％	全国平均 ％
朝食を毎日食べていますか。	92.9%	79.1%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	28.6%	34.9%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	64.3%	55.3%
自分にはよいところがあると思いますか。	42.9%	40.4%
将来の夢や目標を持っていますか。	42.9%	36.1%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	71.4%	68.6%
いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100%	77.5%

朝食・起床・就寝等ほとんどの項目について全国平均を上回っています。しかし，就寝時刻が定まっていないのが気になります。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して，習慣化していきましょう。

規範意識については，肯定的な回答をした生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。

≪家庭学習の様子≫

調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。「３時間以上」	0%	9.2%
「２時間以上，３時間より少ない」	35.7%	22.5%
「１時間以上，２時間より少ない」	21.4%	32.6%
「３０分以上，１時間より少ない」	21.4%	18.4%
「３０分より少ない」	14.3%	10.4%
「全くしない」	7.1%	6.6%

家庭学習については全国平均とほぼ同等ですが，まだ１時間未満の生徒が４割以上おり，中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので，家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導していきます。また，自分の目標に向かって，計画を立てて家庭学習を行う大切さについても指導していきます。

(2)改善に向けての取り組み

【学校では】

○定期テストの前は，学習計画表を作成し，計画を立てて，学習に取り組むようにしています。また，朝のスキルタイムの時間に５教科の学習や確認テストを行い，基礎学力の定着に取り組んでいます。委員会活動においても学習クラスマッチを行ったり，図書館まつりを行って読書を推進したりしています。

○毎週水曜日の放課後や長期休業中は学習会を行い，学習習慣の確立や基礎基本の定着を図っています。

【ご家庭では】

○規則正しい生活と家庭学習習慣の確立は，極めて大切なことです。規則正しい生活は，今できていることを今後も継続することを心がけてもらいたいと思います。そして，ご家庭でも学習時間の確保をお願いいたします。自分で決めて，毎日の学習が習慣となるよう励ましてください。学習の成果が出て少しでも向上したときを逃さず，褒めることで意識が更に高まります。